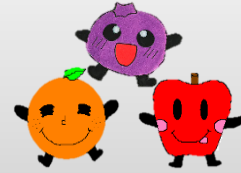


令和8年2月27日

# 築 さかもと



ささえあい、かんがえあい、もっとふかく、ともになぼう  
横浜市立坂本小学校 校長 松比良 聡夫



## 種から華へ ~夢に向かって羽ばたけ6年生~



これは、6年生の「感謝と旅立ちの会」のために子どもたちが考えたテーマです。2月13日(金)に保護者の皆様や教職員を招待して、6年生の子どもたちが発表会を行いました。グループ発表では、「書道パフォーマンス」や「劇」「体育」「家庭科」「音楽」など自分の得意なことを友達と一緒に活き活きと表現しました。クラス合唱では、きれいな二部合唱のハーモニーでクラスの心を一つにして歌声を響かせました。事前の準備や練習の時には、「どのような発表にするか?」「どのように表現するか?」「どのような場の設定、役割分担をするか?」等々、発表をよりよくするために友達と何度も話し合い、主体的・対話的に練習に励んでいました。

さらに素晴らしかったのが、一人ひとりの「一言スピーチ」でした。将来の夢や目標、家族への感謝の気持ちなどを、一人ひとりが大きな声ではっきりとスピーチしました。多くの人の前で自分の思いを堂々と表現できるということは、違いを認め合える関係ができ、自信につながっているからだと思います。会を通して、子どもたちは12年間の感謝の思いとこれからの希望を伝えてくれました。

会の中で、横浜市教育委員会から「ベスト・オブ・ヨコエデュ 2025」の表彰を受け、オンラインの中継で横浜市の下田教育長から励ましの言葉もいただきました。6年生の「学び方選択学習(自由進度学習)」が、『横浜市教育委員会公式note』に、これまで掲載した記事の中から特に注目を集めた6記事に選出されたとのことでした。算数や社会科の時間に、学習計画や学び方を自分で決定し、友達と協働的に解決する学習をくり返してきたことで、めあてに向かって学びを調整する力が育ってきていると思います。「感謝と旅立ちの会」でも、その力を十分発揮して、よりよい発表にすることができました。テーマの通り「種から華へ」成長し、大きく「羽ばたく」姿に感動しました。

今年度も、保護者・地域・学生ボランティアの皆様、登下校の見守り、図書、園芸栽培、稲作、学習支援(家庭科・図工・体育・社会科等)、校外学習の付き添い等々、子どもたちをたくさん支援していただきました。子どもたちは安心して生活・学習して、多くの方々から見守られていると実感し、成長することができました。来年度も、学校と協働して子どもたちを見守り育てていただければと思います。1年間本当にありがとうございました。